

横浜市市民文化会館関内ホール 2019年度業務計画及び収支予算

(株)tvkコミュニケーションズ・(株)テレビ神奈川・(株)横浜メディアアド・
(株)清光社・(公財)横浜市芸術文化振興財団共同事業体

1 施設の概要

施設名	横浜市市民文化会館関内ホール
所在地	横浜市中区住吉町4-42-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階地下2階建
敷地・延床面積	延床面積 8,967.51㎡
開館日	1986年(昭和61年)9月

2 指定管理者

法人名	(株)tvkコミュニケーションズ・(株)テレビ神奈川・(株)横浜メディアアド・(株)清光社・(公財)横浜市芸術文化振興財団共同事業体 代表(株)tvkコミュニケーションズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1 tvk ecom park (ヨコハマくらし館内)
代表者	関 佳史
設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【業務取組の基本的な考え方】

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、関内ホールの特性や馬車道沿いという立地を活かした「市民の文化芸術活動と発表の場の提供」「質の高い鑑賞機会の提供」「次世代育成への積極的な取組」「地域と連携した賑わい創出」など、今期の提案書に示したビジョン(中期的イメージ)を実現するため、これまでの運営経験とノウハウを活かし、次の7つの方針で関内ホールの管理運営に取り組みます。

1. 専門性を発揮して、市民に身近な文化芸術活動の場を提供
2. 専門企業・団体とのネットワークを活かし、特徴ある鑑賞機会を提供
3. 子ども達が楽しめる鑑賞機会と積極的な若手アーティストの支援で次世代を育成
4. 街中の便利なホールとして、集会・講演会利用に対応
5. 魅力あるイベントと幅広い広報活動で、馬車道をはじめ地域の賑わい向上に貢献
6. 経験とノウハウに基づく、安心安全の徹底
7. 行政代行者としてのコンプライアンス(法令遵守)と公平・公正な利用の確保

(2) 平成 31 年度の業務の方針及び達成目標

【全体業務について】

第 3 期指定管理期間の 4 年目となる平成 31 年度は、関内ホールのリニューアルオープンの 2 年目となり、関内ホールの存在感を高め、更なるイメージアップを図り、関内ホールが目指すべき方向性を確立する重要な年度となります。

開館以来、初めてリニューアルされ、使い易くなった関内ホールの施設をアピールするため、利用者向け見学会を開催します。また、提案書に示した「私たちが実現したい関内ホールの将来像」に向けては、引き続き子どもから大人まで幅広い層を対象とした様々な事業を中心に、地元馬車道商店街との連携などによる地域の賑わい創出にも積極的に取り組んでいきます。

これまでの事業に加え、より幅広い事業の実現に向けて、サポーターズ倶楽部に登録していない団体とのネットワークを、更に拡充します。

小ホール夜間区分の個人練習向け「マイ練習プラン」や、大・小ホールに設置している「リアルタイム動画配信システム」など、きめ細かいサービスに関しても継続して行い、使い勝手の良い市民の芸術文化の活動拠点になるよう努めていきます。

また、平成 30 年度から名称を改めて募集を開始した「関内ホール 市民モニター」を活用し、ホールの運営や事業に対する客観的な意見を取り入れていきます。

【事業について】

平成 31 年度も、前年度に実現できた外国人アーティストの自主公演に象徴されるような、今までの関内ホールでは取り組めなかった公演事業の実現を図ります。さらに、ホールの目玉事業として確立した「関内寄席」シリーズなど多くのファンを抱えている事業を継続します。

また、今まで培ってきたシニア向け合唱コンサートシリーズや、毎年恒例となったゴスペルワークショップなど、幅広い年齢層を対象とした参加型事業に加え、公募型ストリートライブ、若手唸家支援寄席、新しくなったホールを開放して行う 1 日オープンデー（親子を対象とした音楽体験型ワークショップを中心とするワンデイ企画）など、次世代を担う子ども達や新進アーティスト等の育成を目的とした事業も継続してラインナップしていきます。

また市民ミュージカルや市民オペラなど、横浜市民の創作活動も引き続きバックアップしていきます。

質の高い鑑賞事業については、引き続き登録 110 団体に及ぶ“サポーターズ倶楽部”のネットワークを活用し、ジャンルごとにバランスよく実施していきます。今まで手掛けることが少なかった商業演劇などの招致にも力を入れ、東京のホールに負けないコンテンツを幅広く展開すべく積極的に活動していきます。また比較的ホールに足を運ばないと評される 20 代、30 代の若年層を取り込める新たなコンテンツの開拓も引き続き行っていきます。

事業によっては、関内ホールが積極的に共催に入ることによって、単なる貸館に留まらない姿勢もアピールしていきます。

地域との連携事業にも引き続き注力し、馬車道商店街との協働による4日間に渡る“馬車道まつりアートフェスタ 2019”の開催をはじめ、関内ホールが面する“馬車道通り”や“入船通り”で例年実施する祭事などに積極的に協力し、地域の賑わいづくりに努めていきます。

リニューアルオープンをきっかけにスタートさせた「チケ得！企画」（関内ホール公演チケット半券を当日提示することで、ホール周辺の飲食・物販店で優待サービスを受けられる企画）も、参加店舗数を拡大し、ホールの利用者サービス、地元経済活性化に貢献していきます。

【施設維持管理について】

大規模改修工事（前年度9月21日に竣工・引渡し）で更新再整備された施設及び設備機器類をはじめ、関内ホールの施設全体をより長期にわたって使用できるように、特に下記項目を課題として施設の維持管理にあたります。

- * 建築工事で更新された建材類（特に床材）に関しては、清掃員が作業時に気付いた点や清掃責任者の意見を基にした作業を試行し、最適な清掃・維持管理方法を確立させる。
- * 更新された設備機器類に関しては、日々の舞台運営・設備機器運転・巡回点検で気付いた点を、諸設備の更新施工会社に相談して最良の維持管理方法を確立させる。

<更新された設備>

- ・受変電設備 ・電気設備 ・昇降設備（エレベーター1号機、2号機）・自家発電設備
- ・電気通信設備 ・舞台照明設備 ・舞台音響設備 ・衛生設備 ・空調設備

4 業務の取組と達成指標

（1）文化事業

ア 市民への音楽、ダンス、演劇その他の文化芸術の鑑賞機会の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①専門企業・団体とのネットワークを活かし、市民に喜ばれる鑑賞事業を展開</p>	<p>コーディネートを活かした幅広いジャンルの事業を、専門企業とのネットワークを活かして定期的に行います。音楽、ダンス、演劇のそれぞれにおいて、多彩なジャンルの事業を実施することで、新たな聴衆の拡大や、それぞれの感性に応じた文化芸術へのきっかけづくりとなるような、質の高い鑑賞機会を提供します。</p> <p>□幅広い層へ向けた良質なコンサート系事業：15公演</p> <p>□ダンス公演系事業：1公演</p> <p>□演劇・ミュージカル・バラエティ系事業：5公演</p> <p>□落語・漫談等、伝統芸能系事業：8公演</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>

<p>②横浜芸術アクション事業など、公的な文化芸術事業にも積極的に協力</p>	<p>横浜市をはじめ中区などが主催する市民参画型のシンボリックな文化芸術イベントに、舞台設営をはじめ、応募者の選定やテレビ、スポット放映、動画のアーカイブ化など、自分達の専門性を活かし、多面的に協力します。</p> <p>□公的文化事業への協力：2公演</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>
<p>③地域のブランド力を高めるシンボリックな事業を、地域と協働で開催</p>	<p>地域の団体と築いてきたネットワークを活かし、地域とともに成長するホールとして、地域のブランド力を高めるシンボリックな事業を実施します。</p> <p>□地域連携事業：7公演</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>

イ 次世代育成の取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①子どもたちの成長度合いに合わせて、文化芸術と触れる多彩な機会を提供</p>	<p>子どもたちの成長度合いに合わせた文化芸術との出会いを提供するため、参加・鑑賞の仕方やテーマが異なる、多彩な機会を提供します。</p> <p>□次世代育成事業：3事業5公演</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>
<p>②新進アーティストを支援する、発表の機会の提供</p>	<p>発表の機会を継続的に提供することで、多くの次世代が文化芸術に取り組み、活躍の輪が相乗効果を生み出すような次世代育成を行います。</p> <p>□新進アーティスト支援事業：3事業5公演</p> <p>□馬車道ショートパフォーマンスライブ：15公演</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>
<p>③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』への協力</p>	<p>市内全域の小中学校と連携を深め、子どもたちが芸術文化と触れ合う機会の提供に貢献します。</p> <p>□横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』にて小学校にコーディネーターを派遣：2校</p>

ウ 創作活動のための機会の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①市民とともに創り上げる、創作ワークショップと発表機会の提供</p>	<p>公募で参加者を募り、専門家を講師に招いて複数回の練習を重ねた上で1つの公演を創り上げる、市民が主役の創作ワークショ</p>

<p>② 市民が気軽に参加できるコンサートの開催</p>	<p>ップ事業を行います。</p> <p>□社会人向けワークショップ：2事業 ゴスペルワークショップ：1クール（約3か月間） 市民ディレクター講座：1回</p> <p>市民が楽しく気軽に参加できる機会を、質の高いコンサートやイベントを実現し、ステージと客席が一体となる感動を提供します。</p> <p>□参加型コンサート事業：3事業6公演</p> <p>※事業内容は別紙のとおり</p>
------------------------------	---

エ 情報提供及び広報

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①共同事業体の専門性を活かした多彩な広報・プロモーション活動</p> <p>②さまざまな側面からの効果的な情報提供</p> <p>(1)映像とICTを活用した独自性のある情報提供</p> <p>(2)市民と連携した「文化アンバサダー制度」による情報発信</p> <p>(3)撮影場所の提供による情報発信</p>	<p>「催物案内」や、ホームページでの広報を強化し、リニューアルした施設の存在感を高め、更なるイメージアップを図り、テレビメディアの活用など共同事業体の専門性を活かした情報発信を実施します。</p> <p>□「催物案内」3つ折りA4仕上がり（全6ページ）</p> <p>□t v k 昼の情報番組で放映：毎月1回</p> <p>□スポットCMを制作し、t v k で放映：主催事業10本</p> <p>□t v k の番組連動公演：1事業</p> <p>□月間「催物案内」制作及び配布：毎月市内280か所（5,500部）</p> <p>■デジタルサイネージを活用した、公演情報やインフォメーションを実施します。</p> <p>■みなとみらい線 馬車道駅構内のインフォメーションラックに「催物案内」を毎月配架</p> <p>■事業広報に各種新聞媒体、フリーペーパー、地域情報誌を活用する。</p> <p>□関内ホールでの公演や、発表会を収録、配信：新規12本 デジタルアーカイブ「関内ホールビデオフォーラム」</p> <p>■広報としてホームページ、Twitter、FacebookなどのITツールを活用する。</p> <p>■「関内ホール市民モニター」による、主催事業についての意見や感想の配信を、ホームページやFacebookを通じて行う。</p> <p>■ドラマやコマーシャル、映画撮影などの利用の際、「協力/関内ホール」のテロップを入れることを条件に料金割引を行う『撮影利用割引』を引き続き実施する。</p>

オ 地域の賑わいへの貢献

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①地元・馬車道地域のニーズに応える賑わい創出への取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ホールホワイエに「馬車道商店街店舗用チラシラック」を設置して商店街の活性化に協力する。 ■馬車道商店街が実施するイベントのチラシ制作・配架、ウェブサイトでの情報発信に協力する。 ■来場者が見込める主催事業について、開演時間を午後（早い時間帯）に設定し、夕食需要や買い物需要を喚起する。 ■従来とは異なる層の来街者創出のため、若者やファミリーを対象とした事業の充実に引き続き取組む。
②地元事業への積極的な貢献	<ul style="list-style-type: none"> ■馬車道商店街などが実施する定例行事やお祭りなどに、企画・広報専門性などを活かした協力を行う。 <p>※対象地元事業は別紙のとおり</p>

カ 文化事業実施にあたっての留意事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①ソーシャルインクルージョンに配慮した取組	<ul style="list-style-type: none"> □障害者招待枠を設定：「陽だまりコンサート4公演」 ■障害者入場割引を実施する。 ■来場する障害者の方用に駐車場を提供する。 ■来場者へ車椅子の貸し出しを行う。

(2) 施設運営

ア 市民の文化芸術活動の発表・創作活動のための施設の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①公の施設としての、公平で公正な貸出業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■市民利用施設予約システムでの抽選と空き施設申込みにより、公平で公正な貸出し業務を実施する。
②新規利用者の増加と利用率の向上を図る、貸出サービスの創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■リハーサル室は個人登録でも利用可能とする。 ■利用1か月前を切った大・小ホールの空きコマについて、「直前申請割引（遅割り）」を実施する。 ■リハーサル室スタンプカード会員サービスを実施する。 ■大・小ホール、リハーサル室全室を終日利用する場合、リハーサル室4部屋分の料金を割引する「全館利用割引」を実施する。 ■設営やリハーサルに使用した時間帯について割引を適用する「リハーサル区分割引」を実施する。 ■サポーターズ倶楽部の登録団体が共催で事業を行う場合、利用
(1) リピーターのニーズに応え、利用率の向上を図る貸出サービス・割引優遇制度の実施	
(2) 市民の文化振興を図り、新規利用者を開拓するための貸出サービス・割引優遇制度の実施	

<p>③利用率の目標（5か年平均）</p> <p>大ホール：94.8%</p> <p>小ホール：93.0%</p> <p>リハーサル室：55.0%</p>	<p>料金について 10%～100%割引を適用する「サポーターズ倶楽部共催割引」を実施する。</p> <p>■営利を目的としない個人の練習向けに、利用2週間前を切った小ホールの夜間空きコマを格安で提供する「マイ練習プラン」を実施する。</p> <p>■大・小ホールに生中継動画配信設備を設置し、利用者へ無料で提供する。</p> <p>■保育園・幼稚園など未就学児童が主体となる団体の利用に対し、割引を適用する「未就学児童特別割引」を実施する。</p> <p>■利用1か月前までの練習利用について割引を適用する「市民文化団体割引」を実施する。</p> <p>■直近の空き日をデジタルサイネージとホームページに掲載。</p> <p>□5か年の利用率目標（大ホール 94.8%・小ホール 93%・リハーサル室 55%）から今年度の利用率目標を設定する。</p> <table border="1" data-bbox="619 936 1225 1137"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>利用率目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>95.5%</td> </tr> <tr> <td>リハーサル室（4部屋）</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施設	利用率目標	大ホール	95.0%	小ホール	95.5%	リハーサル室（4部屋）	60.0%
施設	利用率目標								
大ホール	95.0%								
小ホール	95.5%								
リハーサル室（4部屋）	60.0%								
<p>④専門性を活かした、公演等への積的な助言・サポートの実施</p> <p>(1) ステージコンシェルジュによる、利便性の高いワンストップサービスの提供</p> <p>(2) 舞台技術者による専門的なアドバイスとサポートの実施</p> <p>(3) 利用者ニーズに合わせた広報活動のサポート</p> <p>(4) 専門技術を活かした、音声や映像の記録と録画配信</p>	<p>■ステージコンシェルジュを引き続き実施する。</p> <p>* 生花・弁当・吊看板・写真撮影・ビデオ記録・調律・各種舞台機器レンタルを一括で取次ぎを実施する。</p> <p>■舞台の専門知識を持ったスタッフによるサービス対応</p> <p>* 施設の利用の有無を問わず、公演実施に関する専門的アドバイスを実施する。</p> <p>* 使用時間外や休館日を利用した専門知識を持つスタッフによる施設見学を実施する。</p> <p>* 利用初心者向けにタブレットを利用した利用ガイドの導入や、ホール資料・各種申請書等の（インターネット）ダウンロードを実施する。</p> <p>* 荷物の事前搬入受付や、イベント終了後の発送取次ぎを実施する。</p> <p>■利用者のニーズに合わせた広報サポートを実施する</p> <p>* 「月間催し物案内」への無料掲載、公式ホームページでの告知サービスを実施する。</p> <p>■関内ホールでの公演について、チケット委託販売を実施する。</p> <p>■権利処理可能な公演について収録を行い、関内ホールビデオフォーラムから動画配信を実施する。</p>								

イ 集会や講演利用への施設の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①施設の特性を活かし、比較的大規模な集会や講演会のために施設を提供する。</p>	<p>■ 専門知識を持つスタッフによる公演実施に関するきめ細かなアドバイスをはじめ、公演に必要な物品の手配をワンストップで取り次ぐ「ステージコンシェルジュサービス」を実施し、集会・講演会利用をサポートする。</p> <p>■ 行政が主催する講演会や集会、社会性・公共性の高い集会などに引き続き優先枠を提供する。</p> <p>＜実施予定の講演会・集会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PTA 役員研修会 ・ 廃棄物自主管理事業説明会 ・ 食生活等改善推進員総会 ・ 児童生徒指導中央協議会 ・ 市営住宅抽選会 ・ 医療安全研修会 ・ 療育研究大会 ・ 脳卒中市民講演会
<p>②利用者ニーズに合わせた広報活動のサポート</p>	<p>■ 利用者のニーズに合わせた広報サポートを実施する。</p> <p>* 「月間催物案内」への無料掲載、公式ホームページでの告知サービスを実施する。</p>

ウ 利用促進及び利用者サービスの向上及びアイデアノウハウの提案

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①利用者満足度の向上につながる、さまざまなニーズ把握</p> <p>(1) 利用者の率直な意見を聞くアンケートの実施</p> <p>(2) 関係団体へのヒアリング、意見交換会の実施</p>	<p>■ 来場者アンケート、事業アンケート、利用者アンケート、Web アンケートを継続的に実施することで、利用者のニーズとクレームを把握し日常的に運営の改善に努める。</p> <p>□ 馬車道商店街との意見交換：3か月に1度</p> <p>■ 関内ホール市民モニターとの意見交換を随時行う。</p> <p>■ 事業主催者（利用者）へのヒアリングを随時行う。</p>
<p>②PDCA 発想に基づくニーズ・要望への対応</p>	<p>□ 各種アンケート回答をもとに業務の改善に努める。</p> <p>「責任者会議」：毎月1回</p> <p>「運営調整会議」：毎月1回</p> <p>■ 改善を実施した内容をロビー内の掲示ボードで公開する。</p>

<p>③苦情発生に対する取組</p>	<p>■過去の苦情及びその対応を参考に「苦情対応マニュアル」を作成し全職員が共有する。</p> <p>■苦情対応フローに沿って、苦情に対する処理を行う。</p> <p>■日常の「ヒヤリ・ハット」事例を日報に記載するとともに「運営調整会議」を通じて全職員が共有する。</p> <p>■改善策や再発防止策を「苦情対応マニュアル」に反映し、対応内容について「苦情・要望処理報告書」を市に提出する。</p>
<p>④公演鑑賞に潤いをもたらすカフェコーナー(臨時)の設置</p>	<p>□カフェコーナーに臨時でショップを出店：12回</p>
<p>⑤市民向けの映像・動画作成教室の開催</p>	<p>□自分で映像・動画を制作したい市民向けの映像講座を実施する。 ディレクター講座：1回</p>

エ 運営組織の構築及び組織的な運営

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標																
<p>①専門性が高く、かつ効率的な組織体制</p>	<p>□事務所に舞台及び舞台技術の相談員として舞台技術者を常時1名配置する。</p> <p>■定例会議の実施や情報の共有(PCサーバー)により各職員が担当職員のみならず相互に業務を補完することで、効率的な運営を実施する。</p> <p>□人員配置(計14名)</p> <table border="1" data-bbox="619 1391 1385 1738"> <thead> <tr> <th>職名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>副館長／管理部長</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業部長</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理担当</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>経理担当</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業担当</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>受付担当</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	職名	人数	館長	1	副館長／管理部長	1	事業部長	1	管理担当	1	経理担当	1	事業担当	3	受付担当	6
職名	人数																
館長	1																
副館長／管理部長	1																
事業部長	1																
管理担当	1																
経理担当	1																
事業担当	3																
受付担当	6																
<p>②円滑な管理運営のための各種会議の実施</p>	<p>□各種会議</p> <table border="1" data-bbox="619 1832 1385 2074"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>実施頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝礼</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>責任者会議</td> <td>月1回</td> </tr> <tr> <td>運営調整会議</td> <td>月1回</td> </tr> <tr> <td>運営委員会</td> <td>年4回</td> </tr> </tbody> </table>	会議名	実施頻度	朝礼	毎日	責任者会議	月1回	運営調整会議	月1回	運営委員会	年4回						
会議名	実施頻度																
朝礼	毎日																
責任者会議	月1回																
運営調整会議	月1回																
運営委員会	年4回																

③必要人材の配置と職能 各企業のノウハウを活かした効果的な人材配置	関係機関連絡会	随時															
	利用調整会議	月1回															
④主要人材の能力担保 (1)効果的なOJTの実施 (2)サービスレベルの統一とホスピタリティあふれる運営につながる研修体制 (3)利用者の大舞台を支える高品質な接客マナー	施設管理連絡会	年1回															
	<p>■共同事業体各社から業務ごとに専門性の高い職員を適正に配置する。</p> <p>■職員各々に応じたOJTについて年間を通じて実施する。</p> <p>□各担当向け基本研修の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修テーマ</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接客マナー研修</td> <td>年2回</td> </tr> <tr> <td>人権研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>インスタントシニア研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>コンプライアンス研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>個人情報保護法研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>危機管理研修</td> <td>年1回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練</td> <td>年2回</td> </tr> </tbody> </table>		研修テーマ	開催回数	接客マナー研修	年2回	人権研修	年1回	インスタントシニア研修	年1回	コンプライアンス研修	年1回	個人情報保護法研修	年1回	危機管理研修	年1回	防災訓練
研修テーマ	開催回数																
接客マナー研修	年2回																
人権研修	年1回																
インスタントシニア研修	年1回																
コンプライアンス研修	年1回																
個人情報保護法研修	年1回																
危機管理研修	年1回																
防災訓練	年2回																

オ 本市の重要施策を踏まえた取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①個人情報保護についての取組	<p>■個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱う。</p> <p>□個人情報保護研修：年1回</p> <p>■個人情報の具体的な取扱い方法について記載した「個人情報取扱いマニュアル」を整備する。</p>
②情報公開についての取組	<p>■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて作成した「関内ホール情報公開規程」に基づき、行政文書開示請求等に対して適切に対応する。</p>
③人権尊重についての取組	<p>□人権研修：年1回</p>

④環境への配慮に関する取組	<p>■施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行う。</p> <p>■施設から発生する廃棄物の発生抑制に努めるとともに、職員によるゴミ分別励行を行いゴミの資源化を促進する。</p> <p>■横浜市が推進する「みどりアップ計画」に則り、周辺地域の緑化に協力する。</p>
⑤市内中小企業優先発注についての取組	<p>■「横浜市中企業振興基本条例」を踏まえ、修繕等の発注、物品及び役務の調達等にあたって、可能な限り市内中小企業への優先発注に努める。</p>

カ その他施設運営に関する事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①休館日の届け出について	<p>■休館日、開館時間について年度ごとに横浜市へ届出を行う。</p>
②許認可及び届出について	<p>■ホール内の飲食物販売など、許認可の取得や届出を必要とする場合は関係各所に対し適正に申請を行う。</p>
③目的外使用料の申請について	<p>■自動販売機、携帯電話中継アンテナ、ドリンクコーナー等の目的外使用の申請について横浜市へ届出を行う。</p>
④財務状況の確認	<p>■財務状況の確認のため、横浜市の要請に応じ財務諸表などの財務状況について確認できる書類を提出する。</p>

(3) 施設管理

ア 施設、設備の維持保全及び管理

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標		
①PDCA サイクルに基づく、計画的で高品質な施設管理業務の実施	<p>■大規模改修工事で更新された施設や設備の特性や、公演実施時の注意事項などを熟知し、「施設管理業務の PDCA」に沿った的確な管理運営を実施する。</p>		
②仕様基準を上回る、高品質な施設管理のための創意工夫	<p>■繋閉差に応じた、的確な空調コントロールを行うなど、経験則に基づく専門性の高い施設管理を行う。</p> <p>■大規模改修工事で更新された設備の性能を的確に把握する。</p> <p>□ホールの利用状況に応じた臨機応変な清掃対応を実施する。</p>		
	項目	市の業務基準	公演実施時の清掃対応

③備品等の適切な管理	トイレ清掃	1回以上/日	公演前後、公演中・幕間 合計4回
	カーペット(床 面洗浄)	5回以上/年	公演後の点検により、随時 シミ取りを実施。
<p>■備品管理簿をデータ化し、備品管理を効率的に行えるよう取り組む。</p> <p>■平成30年度に新規購入された1台を含めたグランドピアノ4台について、定期メンテナンスを実施することで良好な状態を保つ。</p>			

イ 小破修繕への取組

□⇒定量的な指標 / ■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①予防保全と施設の長寿命化を図るための中期修繕計画の策定	■大規模改修工事の内容を踏まえ、必要な修繕項目を精査して整理体系化を図り、「中期修繕計画」を策定する。
②保守管理の専門技術を活かした、迅速かつ臨機応変な突発修繕への対応	■設備機器類に関して、日々の設備機器運転・巡回点検で気付いた点を、諸設備の更新施工会社に相談して最良の維持管理方法を確立させる。 □突発的な修繕へ迅速に対応：常時2名の設備員を配置
③修繕費・小破修繕費の計上	■大規模改修工事の内容を踏まえ、必要な修繕項目を精査し、必要な修繕費を計上する。 □小破修繕費：200万円

ウ 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理

□⇒定量的な指標 / ■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①事故防止および犯罪防止のための方針と対策	
(1)巡回警備の徹底	□警備員による館内巡回警備の実施：1日4回(休館日除く)
(2)不審者対策を兼ねた巡回時の工夫	■不審者対策のため、来館者に対しての声掛けや、公演開催前後に入口付近の立哨を実施する。
(3)異常を未然に防止する、施設形状に配慮したきめ細かい巡視点検	■異常の早期発見と未然防止のため、施設形状に配慮したきめ細かい巡視点検を実施する。
(4)主催者に対する公演開催時の	■主催者向け、警備・誘導マニュアルの配布と警備用備品の貸出

<p>警備・誘導のきめ細かいサポート (5) 犯罪を未然に防止する、パニックコールに応じた迅速な対応</p> <p>② 緊急時(事故・犯罪の発生時)の対応の方針と対策 緊急対応マニュアルの作成と平常時の訓練</p> <p>③ 新型インフルエンザ等の感染症対策</p>	<p>を実施する。</p> <p>■ 付属6店舗からのパニックコールに常駐警備員が迅速に対応できる体制を整える。</p> <p>■ 事故や犯罪に対する緊急対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施する。</p> <p>■ 舞台業務に関する作業方法や、公演中の停電及び舞台機構関連のトラブルへの対応マニュアルを整備し、職員に周知徹底を図る。</p> <p>■ 感染症防止のため、ホール出入口に手指消毒剤を設置する。</p> <p>■ 吐しゃ物に対する正しい処理方法を職員間で周知徹底するとともに処理剤やマスク、手袋などを常備する。</p> <p>■ 市内で感染症が発生した場合は、休館について横浜市と協議し、休館の場合はその旨の広報に努めるとともに、問い合わせに対応する体制に切り替える。</p>
---	---

エ 防災に対する取組み

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
① 緊急時の連絡体制・役割分担	<p>■ 全職員に対し緊急時の連絡体制と役割分担についての周知を徹底するとともに、非常時に備え、緊急連絡先カードを携行する。</p> <p>■ 大規模災害時には帰宅困難者一時滞在施設として適切な機能が果たせるよう、共同事業体各社が応援要員を派遣するなどのバックアップを行う。</p>
② 平常時の防災対策	<p>□ 自衛消防隊を設置した消火訓練：年1回</p> <p>□ 防災訓練：年2回</p> <p>■ 主催者へ避難経路図を配布するとともに、災害の種類・程度に応じた避難場所についての打合せ（例えば津波の高さによる館内上階もしくは近隣ビル高層階への避難場所選択の必要性）を主催者と徹底する。</p>
③ 災害発生時の取組	<p>■ 地震、火災、台風など、災害の危険が予想される時は来館者の安全確保を最優先とし避難措置や必要な緊急対処を行うほか、横浜市と協議の上、閉館等の措置を適宜実施する。</p>
④ 障害者の安全管理対策	<p>■ 災害発生時に障がい者を避難させる場合は、誘導担当職員が付き添うとともに、最終的に避難の完了を現場責任者が確認する。</p>

オ その他施設管理に関する事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①来場者に対し、近隣の駐車場を把握して案内するなど、円滑な運営に努める	■付近の駐車場マップを作成し、来場者にご案内する。
②併設する青少年育成センターに係る業務	■日常清掃、定期清掃、巡回警備、保守管理を実施する。 □催事スケジュールについての情報交換：毎月1回 □情報共有と運営改善のための6店舗連絡会：年2回
③併設する6店舗に関する業務	■定期的にエアコン及び消防設備の点検、店舗前の巡回警備、防犯対応、清掃を実施する。 ■横浜市と公有財産賃貸借契約を締結する。各店舗と賃貸借契約を締結する。 ■入居店舗が撤退した場合は市と協議の上、新入居者を選考する。
④施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	□電気主任技術者（3種）：1名 □建築物環境衛生管理技術者：1名 □特定産業廃棄物管理責任者：1名 □甲種防火管理者：1名
⑤「ESCO」事業終了に伴う業務	■横浜市による「ESCO」事業は平成30年度末に終了となったが、当事業に係った設備機器類の維持・保守管理業務を引き継いで行う。

(4) 収支

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①割引優遇制度など独自の利用料金制度の実施	■直前利用割引やリハーサル室スタンプサービスなどの各種利用料割引を継続し、利用者数の向上に努める。 ※各種割引制度の詳細は2施設運営（1）に記載

②自主事業の充実による事業収入の増加	□主催 15 公演の実施による事業収入：2,500 万円
③質の高い事業企画による企業協賛や公的助成金の活用	■主催事業について公的助成金や企業協賛を得られるよう積極的に取り組む。

イ 経費削減等効率的運営の努力

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①職員のマルチジョブ化によるサービス向上とコスト削減の実現	■定例会議の実施や情報の共有（PC サーバー）により各職員が担当職員のみならず相互に業務を補完することで、効率的な運営を実施する。
②運営ノウハウ等経営資源の活用による経費削減策	■2期の運営経験から得たノウハウを活用することで、さまざまな経費を削減し、サービスの向上とコスト削減に努める。
③ヨコハマ 3R 夢プランに基づく日常的な 3R 活動と省エネルギーの推進	■施設内で 3R（リユース・リデュース・リサイクル）を推進し、廃棄物の減量および適正処理を行うとともに、必要の無い照明を消灯するなど、全職員が省エネルギー化に努める。
④業務の標準化・見える化による生産性の向上	■業務手順についてワークフローやマニュアルを作成するなど、業務の標準化を進め生産性の向上に努める。
⑤グループウェアを活用した情報共有による業務効率化	■情報共有手段としてグループウェア・共有サーバーを活用し、作業の効率化を図る。
⑥予防保全によるムリのない中長期的な維持管理経費の削減	■チェックリストを用いた巡回点検に重点を置き、些細な不具合の早期発見および小破修繕により、中長期的な経費削減を図る。

(5) PDCAサイクルの確実な運用

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①日報及び月間業務告書の作成・管理	■各種日報を作成する。 ■月報を作成しモニタリング時に提出する。 ■各日報、月報を適切に管理保管する。
②事業計画書及び事業報告書の作	■業務計画書（次年度の業務計画、収支予算）を作成して横浜市

<p>成・管理</p> <p>③業務評価（モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施）</p>	<p>に提出する。</p> <p>■業務報告書（前年度の業務報告及び利用実績、収支決算）を作成して横浜市に提出する。</p> <p>■モニタリング会議を毎月実施し、横浜市へ運営状況の報告を行う。</p> <p>■自己評価を実施する。</p>
---	--

（6）留意事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①保険及び損害賠償の取扱	■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する。
②関係法令等の順守	■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守する。
③市及び関係機関との連絡調整	■馬車道商店街、住吉町内会の連絡会等に参加する。

【別紙】◆実施事業一覧

4(1)ア 市民への音楽、ダンス、演劇その他の文化芸術の鑑賞機会の提供

<鑑賞事業：幅広い層へ向けた良質なコンサート系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	4月	共催	ポピュラーコンサート①	大ホール	800名
2	5月	共催	ポピュラーコンサート②	大ホール	800名
3	5月	協力	ポピュラーコンサート③	大ホール	800名
4	5月	協力	アイドルコンサート	大ホール	800名
5	6月	協力	ポピュラーコンサート④	大ホール	800名
6	6月	協力	ゴスペルコンサート①	大ホール	900名
7	6月	協力	ポピュラーコンサート⑤	大ホール	700名
8	7月	共催	ゴスペルコンサート②	大ホール	900名
9	9月	協力	ポピュラーコンサート⑥	大ホール	900名
10	9月	協力	ポピュラーコンサート⑦	大ホール	900名
11	9月	協力	ジャズコンサート①	大ホール	750名
12	10月	協力	ポピュラーコンサート⑧	大ホール	900名
13	10月	協力	ジャズコンサート②	大・小ホール	3,000名
14	12月	共催	ジャズコンサート③	大ホール	900名
15	1月	協力	ポピュラーコンサート⑨	大ホール	900名

<鑑賞事業：ダンス公演系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	8月	主催	Boys ballet school エキシビジョン公演	大ホール	800名

<鑑賞事業：演劇/ミュージカル/バラエティ系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	6月	共催	朗読劇公演	大ホール	800名

2	7月	協力	パペットショー	大ホール	1,600名
3	9月	協力	トークショー	大ホール	1,000名
4	10月	協力	ミュージカル	大ホール	1,000名
5	12月	協力	お笑いライブ	小ホール	200名

<鑑賞事業：落語・漫談等・伝統芸能系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	5月	主催	関内寄席①	小ホール	150名
2	5月	共催	チャリティー寄席	大ホール	1,000名
3	7月	主催	関内寄席②	大ホール	1,000名
4	8月	主催	関内寄席③	小ホール	150名
5	8月	協力	寄席	大ホール	1,000名
6	11月	共催	馬車道寄席	大ホール	1,000名
7	12月	協力	はまっこ寄席	大ホール	1,000名
8	1月	主催	関内寄席④	大ホール	1,000名

<公的文化芸術事業への協力>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	6月	協力	中区ダンスフェスティバル	大ホール	中区主催ダンスフェスティバル	1,000名
2	11月	協力	横浜音祭り 2019	大ホール	横浜の「街」そのものを舞台とした音楽フェスティバル	2,000名

<地域連携事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
-----	------	------	------	----	------	------

1	10/31	協力	ガス灯点灯式典	玄関前広場	馬車道通りから本町通りにかけてガス灯が灯ったことを記念した「ガス灯点灯レセプション」を実施する	300名
2	10/31	主催	“馬車道アートフェスタ2019”	大ホール	馬車道の恒例行事である“馬車道まつり”の開催期間に合わせて4日間にわたり大・小ホールでさまざまな招待公演を実施する	800名
3	10/31	主催	“馬車道アートフェスタ2019”ジャズコンサート	小ホール	“馬車道アートフェスタ2019”の一環として、トランペットジャズコンサートを実施する	200名
4	11/1	主催	“馬車道アートフェスタ2019”プラスコンサート	大ホール	“馬車道アートフェスタ2019”の一環として、東京藝大ウィンドオーケストラコンサートを実施する	1,000名
5	11/1	主催	“馬車道アートフェスタ2019”クラシックコンサート	小ホール	“馬車道アートフェスタ2019”の一環として、映像クラシックコンサートを実施する	250名
6	11/2	主催	“馬車道アートフェスタ2018”コンサート	大ホール	“馬車道アートフェスタ2019”の一環として、コンサートを実施する	1,000名
7	11/3	主催	“馬車道アートフェスタ2019”関内ホール1日オープンデー	大ホール	“馬車道アートフェスタ2019”の一環として、9回目となる関内ホール1日オープンデーを開催する	3,000名

4(1)イ 次世代育成の取組

<次世代育成事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	5月	協力	バレエコンクール	大ホール	優れた才能を持つバレエダンサーの発掘、バレエの発展向上を目指す	500名
2	8月	共催	ダンスワークショップ	大ホール	業界初の男子限定ワークショップ	30名
3	11月	主催	ピアノの仕組み教室	リハーサル室	プロの調律師によるピアノの仕組み教室。調律体験も合わせて実施する	参加者 80名
4	11月	主催	工作系ワークショップ	リハーサル室	手づくり小物の工作ワークショップ	参加者 50名

5	11月	主催	楽器体験 ワークショップ	リハー サル室	楽器体験ワークショップ	参加者 50名
---	-----	----	-----------------	------------	-------------	------------

<新進アーティスト支援事業>

No.	実施 時期	実施 形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込
1	通年	主催	馬車道ショートパフォーマンス ンスライブ	玄関前広場	公募によるストリートライブを玄関前で実施。 15回開催予定	観覧者延べ 700名
2	5月	主催	関内寄席ねくすと①	小ホール	落語評論家”広瀬和生”イチ押し”二つ目噺家”をピックアップ	200名
3	8月	主催	関内寄席ねくすと②	小ホール	落語評論家”広瀬和生”イチ押し”二つ目噺家”をピックアップ	200名
4	11月	主催	ババールの音楽物語	小ホール	親子で楽しめる鑑賞型クラシックコンサート	200名
5	3月	主催	きっずmeet みゅーじっく	小ホール	親子で楽しむ体感型、本格的クラシックコンサート	200名

<学校プログラム>

No.	実施 時期	実施 形態	タイトル	会場	事業内容	対象
1	未定	学校プログラム業務委託	横浜市芸術文化教育プラットフォーム/学校プログラム	市内小学校	未定	小学生
2	未定	学校プログラム業務委託	横浜市芸術文化教育プラットフォーム/学校プログラム	市内小学校	未定	小学生

4(1)ウ 創作活動のための機会の提供

<社会人向けワークショップ>

No.	実施 時期	実施 形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込
-----	----------	----------	------	----	------	----------

1	6月～ 8月	主催	SOULMATICS のゴスペルワークショップ9	小ホール	人気ゴスペルグループが講師を務めるワークショップ。 (約3か月間)	参加者 100名
2	10月	主催	市民ディレクター講座	リハーサル室	動画撮影・編集・ネット配信までを学ぶ講座	20名

<参加型コンサート事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	5月	主催	馬車道 陽だまり コンサート vol. 39	大ホール	クラシック演奏と合唱が一度に楽しめる、客席参加型合唱コンサート。障がい者招待も実施。	700名
2	8月	主催	1000人ゴスペル in 関内ホール～世界で一番大切なあなたへ～	大ホール	ワークショップ参加者と来場者が一体となるゴスペルコンサート	1,000名
3	8月	主催	馬車道 陽だまり コンサート vol. 40	大ホール	クラシック演奏と合唱が一度に楽しめる、客席参加型合唱コンサート。障がい者招待も実施。	700名
4	11月	主催	体験型・参加型コンサート	大ホール	体験型・参加型コンサート	1,400名
5	11月	主催	馬車道 陽だまり コンサート vol. 41	大ホール	クラシック演奏と合唱が一度に楽しめる、客席参加型合唱コンサート。障がい者招待も実施。	700名
6	2月	主催	馬車道 陽だまり コンサート vol. 42	大ホール	クラシック演奏と合唱が一度に楽しめる、客席参加型合唱コンサート。障がい者招待も実施。	700名

関内ホール 予定表 平成31年度(2019年度)

月	日	曜	営業状態	舞台関係点検		設備保全関係		清掃関係		開館不可能な理由	開館状況	備考
				大ホール	小ホール	外部委託点検	監視室点検	特殊清掃	定期清掃			
4	8	月	全館休館	舞台機構	舞台機構	エレベータ	冷却塔			エレベータ点検		法定
	22	月	全館休館	舞台照明	舞台照明 ピアノ(リハ4) 定期調律				事務所	事務所清掃		
	23	火	一部閉鎖	舞台照明							小ホール・リハ	
5	13	月	全館休館	ピアノ スタインウェイ		エレベータ	冷却塔			エレベータ点検 貯水槽清掃		法定
	14	火	一部閉鎖	ピアノ スタインウェイ							小ホール・リハ	
6	10	月	全館休館		ピアノ CF-ⅢS	エレベータ 自動ドア	冷却塔	ガラス清掃 貯水槽清掃	小ホール	エレベータ点検		法定
7	8	月	全館休館	ピアノ CFX		エレベータ 12条点検	冷却塔	ガラス清掃		エレベータ点検		法定
	9	火	一部閉鎖	ピアノ CFX							小ホール・リハ	
	22	月	全館休館	舞台機構	舞台機構	中央監視			事務所	中央監視制御点検		法定
8	5	月	全館休館	館内消毒						館内消毒		法定
	6	火	全館休館	舞台照明	音響	エレベータ 消防設備	冷却塔	汚水槽清掃		エレベータ点検 消防設備点検		法定
	7	水	一部閉鎖	舞台照明							小ホール・リハ	
	19	月	全館休館	舞台照明	舞台照明				大ホール			法定
	20	火	一部閉鎖		舞台照明						大ホール・リハ	
9	9	月	全館休館	電気設備年次点検						電気設備点検		法定
	10	火	全館休館	音響	ピアノ(リハ4) 定期調律	消防設備 エレベータ 自動ドア 非常用発電機	冷却塔	ガラス清掃		エレベータ点検 消防設備点検		法定
	11	水	一部閉鎖	音響							小ホール・リハ	
10	7	月	全館休館	舞台機構	舞台機構	エレベータ	冷却塔		事務所	エレベータ点検		法定
11	11	月	全館休館	舞台照明	舞台照明	エレベータ	冷却塔	ガラス清掃		エレベータ点検		法定
	12	火	一部閉鎖	舞台照明							小ホール・リハ	
12	9	月	全館休館			エレベータ 自動ドア	冷却塔			エレベータ点検		法定
	29	日	年末年始	年末年始						年末		
	30	月	年末年始	年末年始								
	31	火	年末年始	年末年始								
1	1	水	年末年始	年末年始						年始		
	2	木	年末年始	年末年始								
	3	金	年末年始	年末年始								
2	14	火	全館休館	舞台機構	舞台機構	エレベータ	冷却塔	ガラス清掃	事務所	エレベータ点検		法定
	3	月	全館休館	館内消毒						館内消毒		法定
	4	火	全館休館		舞台照明	エレベータ 消防設備		汚水槽清掃 照明器具		エレベータ点検 汚水槽点検 消防設備点検		法定
	5	水	一部閉鎖	舞台照明	舞台照明						大ホール・リハ	
	17	月	全館休館	舞台照明								法定
	18	火	一部閉鎖	舞台照明							小ホール・リハ	
3	9	月	全館休館	音響	ピアノ(リハ4) 定期調律	エレベータ 自動ドア 非常用発電機	大ホール	照明器具	大ホール	エレベータ点検 照明器具清掃		法定
	10	火	一部閉鎖	音響		消防設備		ガラス清掃		消防設備点検	小ホール・リハ	
	23	月	全館休館		音響							法定

平成31年度 「横浜市市民文化会館関内ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	説明
指定管理料	134,698,000	横浜市より
利用料金収入	75,500,000	
自主事業収入	31,160,000	
雑入	27,011,000	
自動販売機手数料	1,587,000	
育成センター施設負担金	10,899,000	
附属店舗賃借料・共益費・電気料	10,285,000	提案時に未計上であった附属店舗賃付料を計上したので提案時より増額
その他(チケット販売手数料等)	4,240,000	チケット販売手数料、物販手数料
収入合計	268,369,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	説明
人件費	51,300,200	
給与・賃金	49,567,200	受付担当者をアルバイトから派遣社員に変更及び1名増員
社会保険料	0	共同事業体各社にて出向者分を負担
通勤手当	1,733,000	
健康診断費	0	共同事業体各社にて出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金	0	共同事業体各社にて出向者分を負担
退職給付引当金繰入額	0	共同事業体各社にて出向者分を負担
事務費	17,744,918	
旅費	20,300	
消耗品費	918,600	
会議賄い費	20,300	
印刷製本費(広報費含む)	3,015,000	
通信費	996,000	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	8,905,718	
横浜市への支払分	8,905,718	公有財産賃付料(附属店舗)、目的外使用料(飲料自販機6台分、ドリンクコーナー)
その他	0	
備品購入費	202,000	
図書購入費	10,000	
施設賠償責任保険	139,000	業務災害補償保険(補償対象者：自主事業時のアルバイト)を含む
職員等研修費	101,000	
振込手数料	351,000	
リース料	2,197,000	簡易印刷機、紙折り機、パソコン、玄関マット、AED 他
手数料	66,000	チケット代引き手数料他
地域協力費	803,000	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費等
事業費	31,067,000	
自主事業費	31,067,000	
管理費	162,955,300	
光熱水費	33,932,000	
電気料金	23,969,000	
ガス料金	4,983,000	
水道料金	4,980,000	
清掃費	25,087,200	
修繕費	2,000,000	
舞台管理技術委託費	44,058,000	
機械警備費	1,170,900	
設備管理費	56,707,200	
空調衛生設備保守	15,478,200	ESCO機器類維持管理費(年間2,486,000)を含む
消防設備保守	5,350,200	
電気設備保守	13,570,200	
害虫駆除清掃保守	912,000	
駐車場設備保全費	185,400	
その他保全費	21,211,200	
共益費	0	
公租公課	3,985,582	
事業所税	142,000	税種名 = 中区法人市民税均等割り額
消費税	3,794,582	
印紙税	48,000	
その他(預金金利の国税・地方税)	1,000	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,316,000	
本部分	708,000	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	608,000	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処理費等
支出合計	268,369,000	
差引	0	